

給水のためのタイムアウトの取り扱いについて

熱中症予防の観点から、選手、審判団の健康管理を維持するために「給水のためのタイムアウト」を採用する。

【手順】

1. 各セットにおいて、リードするチームが13点目に達したとき、30秒間の給水タイムを自動的に適応する。最終セット(第3セット)についてはチェンジコートをしたあとに適応される。
2. タイムアウトと同様に、副審(または主審)がホイッスルで合図し計時を行い、30秒後に給水タイム終了をホイッスルで合図する。
3. 給水タイムは、正規の試合中断の要求(タイムアウト、選手交代)やリベロリプレイメント等より優先される。上記を行う場合は、給水タイム終了後にその手続きを行う。
4. コート内の選手の給水はアップゾーン付近で行う。
5. 給水タイムは給水だけを目的としたものなので、選手(生徒のマネージャーも含む)のみで実施される。交代選手等が飲料水やタオル等を準備する。
6. ベンチスタッフ(監督・コーチ)は選手との会話は認められない。
7. タイミングが遅れた場合は、確認できた時点で給水タイムを適応する。